

【あけはま荘新報】

く 食 く

『喫茶ゆり』六月二十一日

荘内喫茶店が開かれました。

『そうめん流し』

七月十九日に明間に、八月三日に荘内で実施。

く 行事 く

『夏祭り』七月二十六日

『あけはま荘盆踊り大会』八月十七日

(右記二つは一面と中面に関連記事)

『合同遠足』五月二十五日

野村の乙亥会館で行われました。

『花菖蒲観覧』六月七日

南楽園に花菖蒲を見に行きました。

今後の行事予定

『西予市老施設合同演芸会』九月

『荘内運動会』十月

『遠足』十月

『クリスマス会』十二月

注：現時点でわかっているものを掲載しています。

注二：予定ですので、変更の可能性もあります。

ブログやってます

季刊の広報誌では遅れがちな情報をいち早くお届けします。

<http://www.seiyofukushi.com/topics/?cat=28>

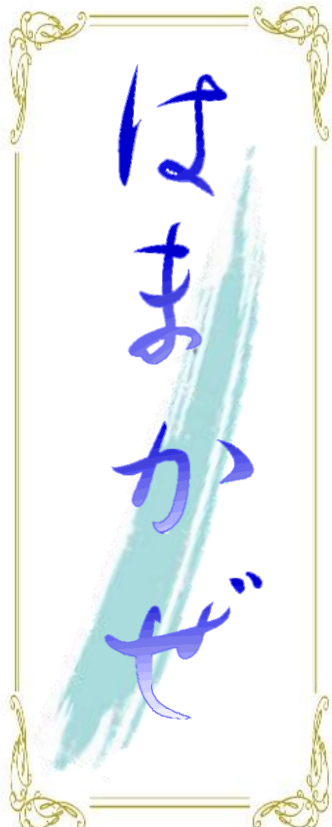
直接アドレスをたどる方法の他に西予総合福祉会のホームページを検索して頂いて、下段にある老人事業部の各施設のリンクから、特別養護老人ホームあけはま荘を選び、リンク先の「この施設のお知らせはこちら」をクリックする方法もあります。



秋は夕暮れ。

有名な童謡「赤とんぼ」、背中におんぶされて赤とんぼを見た様子を、ながら無数の赤とんぼに追いかけて逃げ惑っている風景と勘違いしていた人もいないでしょうか。枕草子に描写される夕暮れは、夕焼け空の中、ねぐらへと飛んでゆく鳥や雁に風情を感じたものですが、忙しく飛んでいる様子が「あわれなり」。しみじみとした趣と言った要素が強いのですが、日常が忙しい現代日本にとっては、「あわれなり」は「趣深く感じる」ではなく、「身につまされて悲しい」といったところでしょう。また、雁が列を成して飛んでいくという風景は、最近では見たことがある人も少ないのではないのでしょうか。鴨はよく見かけるのですが、西予市は、コウノトリや、場合によってはツルが訪れる地です。ツルがく字をなして飛んでいる様は別の地で見たことがあるのですが、昔はどこでも見えたそうですね。いつかまた、そのような光景が復活してくればうれしいのですが。ちなみに暮れた後の虫の音についても言及されているのですが、変わらないものもあるですね。

あけはま荘の夏と地域文化



初秋とは名ばかりの厳しい残暑が続いております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏を振り返りますと、梅雨明けから夏日が続く、高温注意情報や連日発表されるなど体に堪える暑さとなりました。また、オリンピック・パラリンピックや高校野球の応援で、更に熱い夏を過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。

『あけはま荘』でも楽しく夏を感じていただこうと、各委員会がアイデアを出し合い、夏を盛上げて参りました。初開催の『夏祭り』では、祭囃子が流れ、提灯が揺れるフロアの中に、お好み焼き・焼きソバ・カキ氷・生ビールなど、たくさんの方々が並び、ご利用者と職員と一緒に夕涼みの一時を楽しみました。その他にも、フロアの中に竹を組んでの『そうめん流し』。炭火を熾しての『BBQ』や『ウナギの蒲焼き』も大盛況。すっかり食べて、スナミナを付けていただけたようです。

そして、八月十七日には恒例の『歌舞伎くずし 盆踊り大会』が行われましたが、なんと今年は『歌舞伎くずし』に施設長と私が参加させていただくことになった。ならば、当日まで、みんなには内緒。という事で、誰の目にも触れないように練習を開始。江戸時代から伝わる伝統行事で、市の指定無形民俗文化財でもある『この歌舞伎くずし』に参加できる嬉しさや緊張を感じる日々が続きました。踊りの出来は別として、踊り終えた後の爽快感と達成感、ご利用者や職員の驚いた顔や声援がとても心地良く感じました。そして、何よりも地域の方々の「団結力」「伝統(文化)を大切に思う心」「優しさ」など、人の素晴らしさに感動です。見習うべき事が多々あり、参加して得たものは大きなものでした。

地域の理解と信頼を得ながら共存共栄していく事は、私たちの目標でもあります。当施設が地域コミュニティの一翼となり、あらゆる場面で地域に協力できればと思います。更に、社会福祉法人の使命の一つでもある『地域貢献』にも繋がりたいと考えております。

最後になりましたが、『夏祭り』『盆踊り』等でご助力を頂いた皆様、誠にありがとうございました。今後も、地域との繋がりを大切にし、地域に開かれた施設づくりに努めて参りますので、尚一層のご教授を賜りますようお願い申し上げます。



― 編集後記 ―

今回は夏の行事がたくさんあり賑やかな紙面になりました。少しでも、利用者様の楽しまれている様子が伝われば幸いです。

この秋もたくさん新しい行事も企画されていますので、お楽しみに！

広報委員 矢内志保



「感染予防の三原則」 これからの季節に向けて

私達の周りには数多くの感染症が存在しています。この感染の予防には感染症予防三原則という基本があり、これを知ること、より効果の高い感染予防が可能となります。全ての感染症の発症には、感染源、感染経路、感受性のある人という三大要素が関わっています。感染予防三原則とは、この三要素の繋がりを断ち切るための、各々の要素に対応した対策なのです。

感染源…感染した人や細菌・ウイルス等に汚染された食器等のこと。

対策…**発症者の早期発見・治療。清潔の保持。感染源を持ち込まない、増やさない。**

感染経路…体内に侵入する道筋。接触・飛沫・空気・血液を通じて等。

対策…**手洗い・うがい、環境の清掃等、経路別の予防策を取る。**

感受性のある人…感染を受ける可能性の高い人（抵抗力の弱い人。高齢者・幼児等）

対策…**抵抗力を上げる為、十分な栄養・睡眠を取る。適度な運動を行う。予防接種を受ける。**

感染予防には、それぞれの段階でしっかりと対策をとることが重要です。また、発症してから対策をとるのではなく、日頃から清掃や体調管理を徹底しておく事が一番の感染予防に繋がります。



感染症委員会 委員長 大野 宏



たまごさん
Vol. 前回は
エンザ体操... Tamago



嚥下（えんげ）体操とは、飲み込みを良くするお口の体操です。

職員紹介 はじめましてとおかえりなさい

はじめまして 岡田将一（いよ・ばん）

七月からあけはま荘で働き始めました。全くの未経験でこの仕事を始めましたので、毎日が勉強で、日々楽しく、ご利用者の皆様と過ごしています。これから頑張っていきたいので、宜しくお願いします。



徳久真也（ちりめん）

この度、あけはま荘で働き始めました。私は、山に囲まれて育ったので、初めて明浜の海を見た時は感銘を受けました。まだまだ未熟者ですが、一日も早く仕事を覚えられよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願いします。



おかえりなさい 牧野和美（いよ・ばん）

去年の七月末より、一年間産休、育休を頂きまして、ありがとうございました。九月より復職しました。娘も健康に育ち、自宅近くの保育所に入ることができ、復職後は安心して仕事ができます。九月より、皆様とまた関わっていただけることを嬉しく思っています。

